



安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けをおこなってください。
 - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをするや生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに別して示しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**
- 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造をしないこと
- 交流 100 V 以上では使用しないこと
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
- アースを確実に取り付けること
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すこと
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木道の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
- 排気ダクトの取り出しは、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
- 浴室内など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
- 浴室内など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること

注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 作業は 2 人以上でおこなうこと
- レンジフードは 36kg の重さがあります

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者が必要となります。
- 配線工事「コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等」
- 配管工事「ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等」
- 流涎養生（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
- ダクトの不燃処理について
- 配線工事は、各メーカーの「標準施工要領技術指図書」「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものを使用してください。
- 調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。
- 屋外壁面の排気口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m²/h 50Pa 以下のものを使用してください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極度に屈曲したダクトは排気性能を著しく低下させたり、騒音が大きくなったりしますので使用しないでください。
- レンジフードは調理機器の真上に設置してください。
- レンジフードの取付高さは、レンジフードの下部が調理機器の真上 80cm 以上になるようにしてください。

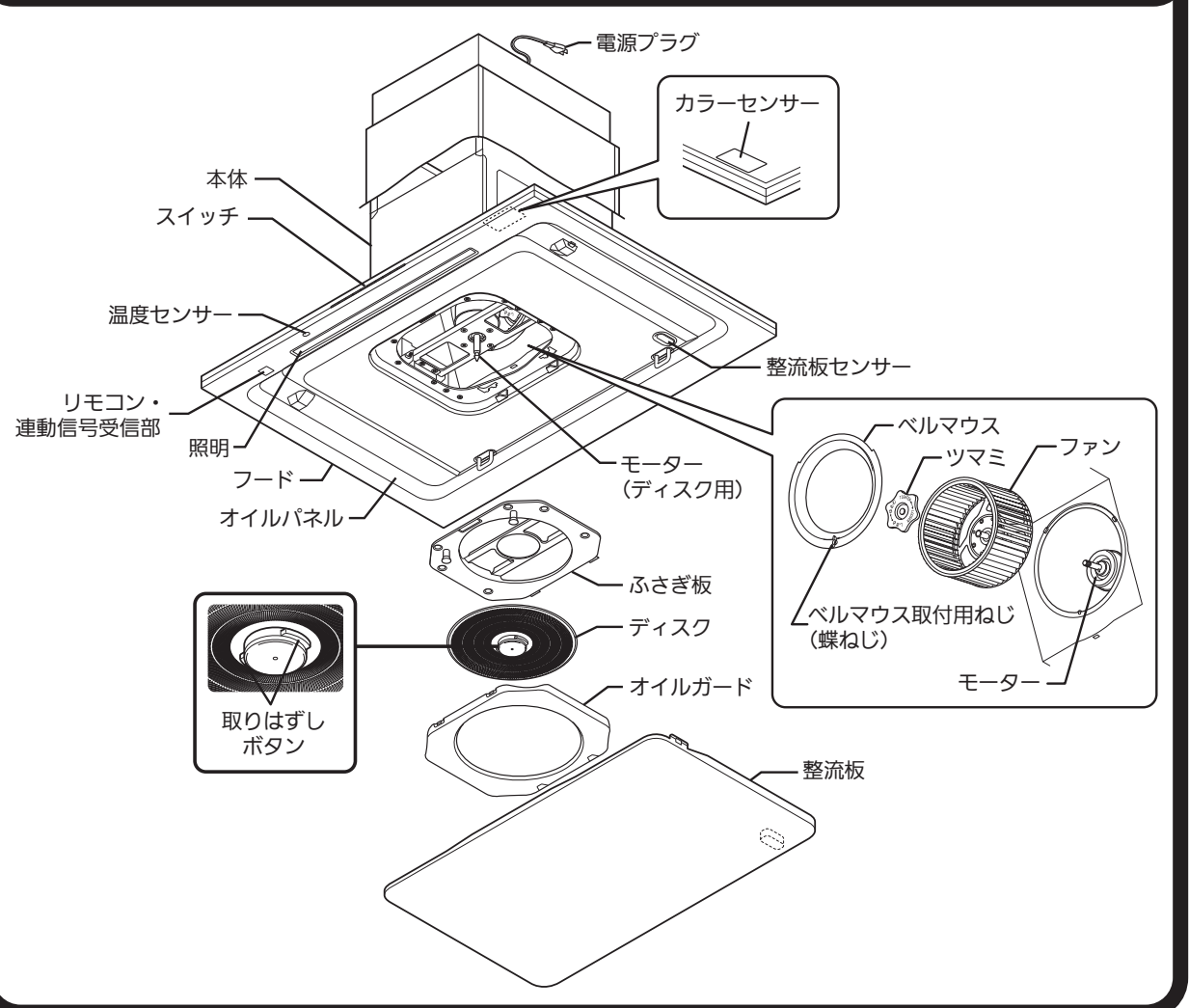
警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造をしないこと
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
- アースを確実に取り付けること
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

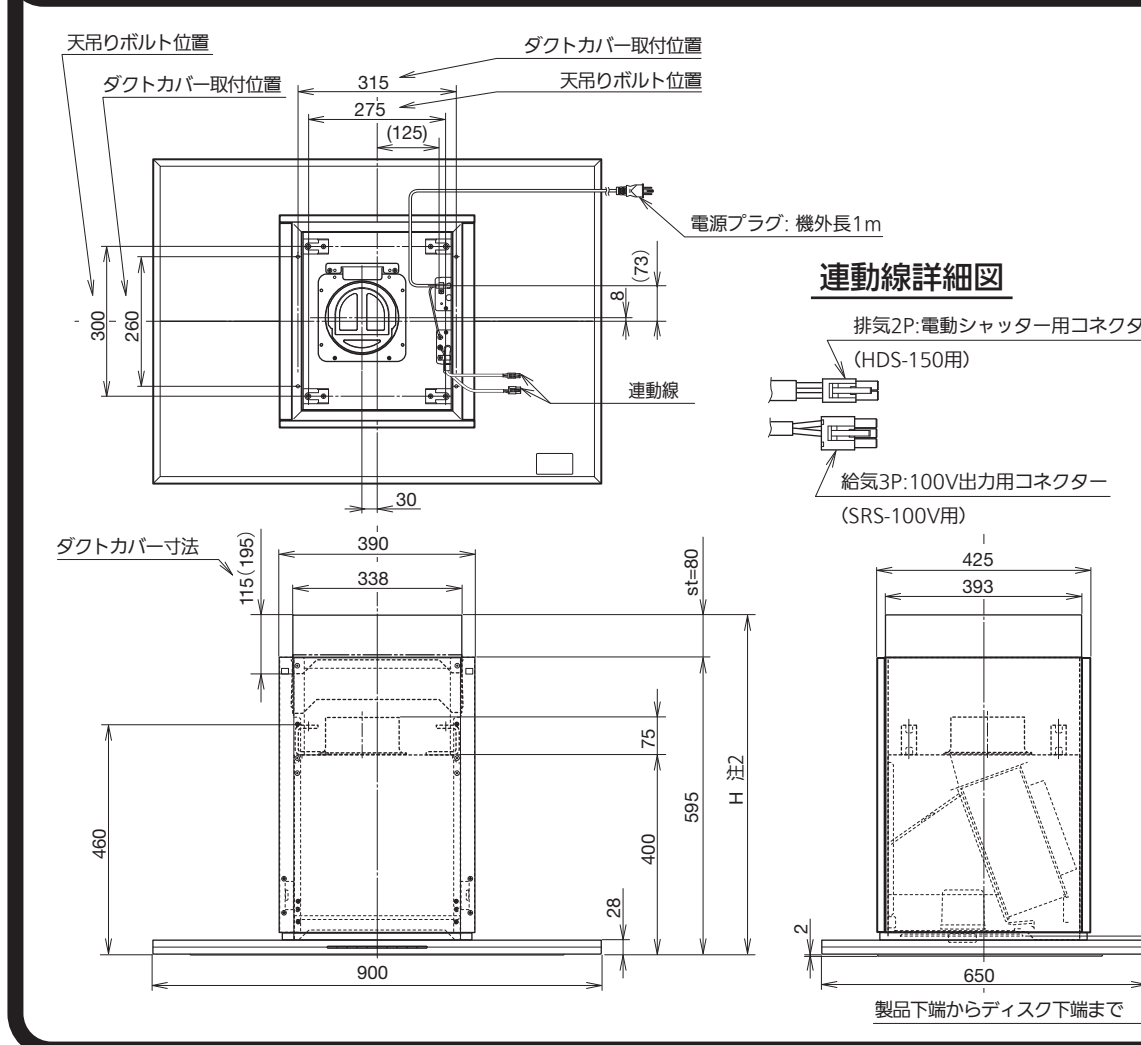
取り付け前の調査と準備

- 1 取付場所の強度確認
 - 2 天井面の穴の穴あけ
 - 3 吊りボルトの取り付け
 - 4 排気ダクトの取り出し
 - 5 標準取付寸法
 - 6 電源コンセント・ブレーカー
-

各部のなまえ



製品寸法図



付属品

- トラスねじ (M4 × 10) 2 本
- トラスねじ (M5 × 12) 6 本
- フード固定金具 1 個
- ソフトテープ 1 本
- 整流板 1 個

取り付けかた

1. 付属品の確認

- 取り付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
- 作業は 2 人以上でおこなうこと
- 製品は 36kg の重さがあります
- 付属品を確認します。
- 保護用のクッション材と固定用テープは必ず確認してください。

2. 取付準備

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木道の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けのこと
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すこと
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

3. フード・本体の準備

- 1 オイルガードの固定テープをはずします。
- 2 保護用クッション材をはずします。
- 3 ディスクをはずします。
- 4 ふさぎ板をはずします。
- 5 天板前・天板後をはずします。

4. 本体の取り付け

- 1 本体の準備
- 2 ダクトカバー（別売部品）を取り付けます。
- 3 吊りボルトにナットを取り付けます。
- 4 本体を吊りボルトに固定します。
- 5 風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。
- 6 排気口設置面の漏風確認のお願い
- 7 ダクトカバーと本体を固定します。

5. 取り付け完了

- 1 事前には、管工事業者（法的な資格者）へ天井面のダクト穴の開口を依頼してください。
- 2 φ150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを回のようにレンジフードの下部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。
- 3 M10 ~ 12 の吊りボルト（取付作業側の手配）を 4 本、天井内の梁などの頑強部分に固定します。
- 4 吊りボルトに M10 ~ 12 のナットおよびワッシャー（取付作業側の手配）を吊りボルトのメーカー位置まで差し込みます。
- 5 本体を吊りボルトに固定します。
- 6 ソフトテープを貼ります。
- 7 天板前・天板後をはずします。
- 8 天板前・天板後をはずします。
- 9 天板前・天板後をはずします。
- 10 天板前・天板後をはずします。

6. 取り付け完了後の確認

- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。

7. 取り付け完了後の確認

- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。

8. 取り付け完了後の確認

- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。

9. 取り付け完了後の確認

- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。
- 天板前・天板後をはずします。

取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた（つづき）

7 フードを取り付けます。

- 1) フードを持ち上げた状態で、フードから出ているモーターの配線を本体下部から通し、本体左側に引き出します(図4-8 1)。
- 2) フード後側の引掛け線を本体後側に引っ掛け、フードを左に寄せます(図4-8 2)。

お願い
配線を挟まないようご注意ください。

- 3) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます(図4-8 3)。

お願い
ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。
- 4) 付属品のトラスねじ(M5×12) 6本でフード下側から右図の各位置を固定します(図4-8 4)。

8 コネクターを接続します。(図4-9)

- 1) フード右側から出ている電気配線のコネクターを本体のコネクターに接続します。
- 2) フード左側から出ている電気配線のコネクターを本体のコネクターに接続し、本体内側の4Pコネクター(平)と4Pコネクター(角)を本体の4Pコネクター(平)と4Pコネクター(角)にそれぞれ接続します。

お願い
コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

コネクターを挿入する場合

奥まで挿入して確実にロックすること
前後に動かしても抜けないこと

正しい差し込み方 誤った差し込み方

9 本体横の内ふたを取り付けます。

「3. フード・本体の準備」■本体の準備、手順3で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

10 天板前・天板後を取り付けます。

「3. フード・本体の準備」■フードの準備、手順5で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

11 フード固定金具を取り付けます。

本体背面に付属品のフード固定金具を引っ掛け、トラスねじ(M4×10) 2本で固定します(図4-10)。

12 ふさぎ板、ディスク、オイルガードを取り付けます。

「3. フード・本体の準備」■フードの準備、手順2～4で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。
※はずした保護用クッション材は取り付けずに廃棄してください。

13 整流板を取り付けます。(図4-11)

- 1) 奥側左右の整流板引掛け部をフード引掛け部に確実に引っ掛けます(1)。
- 2) 整流板を両手で支えながら手前側を上を持ち上げ、左右のストッパーを押しながらロックします(2)。取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。

お願い
・整流板の固定は、確実にこなしてください。ロックが不十分だと落下の原因になります。

5. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること
故障や雷電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い
・電源は専用のコンセント(2極接地極付差込接続器 15 A、125V)およびブレーカーを設けてください。
・「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
・必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。

■「4. 本体の取り付け」手順4の4)で以下の作業をおこないます。
分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い
・電源は専用のコンセント(2極接地極付差込接続器 15 A、125V)およびブレーカーを設けてください。
・「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
・必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。

6. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります

■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
■ スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
■ 必ず最終設置した状態で試運転してください。
■ 整流板やディスクが正しく取り付けられていないことを確認してください。
整流板が正しく取り付けられていないと、運転停止機能により運転ができません。
ディスクを取り付けていなかったり、取り付けが不完全な状態で運転すると、ディスク付け忘れお知らせ機能により、付け忘れをお知らせします。
整流板とディスクの取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
■ 運転時、各選調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
■ 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。
■ 風量おまかせ運転(風量自動切替)機能を正しくお使いいただくために、別紙に記載の方法で必ず環境設定をおこなってください。

7. 横ふた・前ふた・後ふたの取り付け

- 横ふたは左右同一品です。また、前ふた・後ふたも同一品となります。
- 横ふたを先に取り付けてください。
- 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」の取りはずしかたを参考にしてください。

お願い
・取り付けの際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてください。
・横ふた・前ふた・後ふたの取り付けが終わったら、フード天板に貼ってあるキズ防止テープをはがしてください(図3-5参照)。

※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープはもとの状態に取り付けてください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔製造元〕 **富士工業株式会社**
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
 TEL 042(768)3754 (営業部)